

学校だより

練馬区立大泉学園中学校

発行日 平成28年2月29日(月)臨時号

発行人 校長 桐野 和之

平成27年度・学校評価に関わる

保護者・生徒・教員アンケート結果

学校評価に関わるアンケートのご協力、大変ありがとうございました。いただいたアンケートを分析し、平成28年度の教育活動にいかしていきたいと思えます。今年度のアンケート数は生徒(492)、保護者(363)、教員(20)でした。以下の数値は、すごく思う、ややそう思う、あまり思わない、全く思わない、分からない、この各質問項目のうち、のすごく思うと、のややそう思うを、合わせて%で数値を表しました。(生徒アンケートは12までが共通項目です。)

1～4(学力向上)

1 わかりやすい授業を行っている。

生徒	保護者	教員
81.3%	60.4%	100%

2 学習のつまずきの受け止めと補習などの個別指導

生徒	保護者	教員
69.7%	56.7%	90%

3 学習の振り返りに対する教え方や教材の工夫

生徒	保護者	教員
73%	43.8%	90%

4 読書啓発に力を入れている

生徒	保護者	教員
69.7%	56.7%	90%

【学力向上に関する主な取組】

教科指導における学習の振り返り 評価規準の提示
指導助言と聞きやすい環境づくり
各教科の「根拠をもとに説明できる力の育成」の研究と研究授業実施
生徒による授業評価と授業改善推進プランの作成
定期考査前の質問教室
夏季学力補充教室 読書月間設定 登校支援室学習ボランティア導入

【課題】

学習の振り返り 学習支援 学校図書館の活用

【今後の方策】

- ・学習の振り返りや教え方の工夫、学習のつまずきへの対応に対する学校への願いがあると考えます。生徒の学習実態の把握とともに、面談その他での、家庭との連携も視野に入れながら生徒の学習意欲の向上や自学自習の姿勢づくりを通じて学力向上に結びつけたいと考えます。また、家庭との連携のためにも学校公開への保護者の参加も今まで以上に呼びかけ、工夫を図りたいと思えます。

各教科の学習の振り返りや教材の工夫
個別面談の効果的な活用
読書啓発と読書月間の設定
読書月間の継続実施

生徒の質問しやすい雰囲気、環境づくり
質問教室、学力補充教室の実施
教員の授業力向上を目指した研究の充実

5～9（健全育成）

5 基本的な生活習慣の指導

生徒	保護者	教員
88.6%	84.3%	90%

6 学校と家庭の連携、子どもや保護者の悩みに応える指導

生徒	保護者	教員
46.6%	70.8%	100%

7 いじめアンケートの実施などいじめ防止指導

生徒	保護者	教員
71.6%	61.4%	100%

8 部活動への取組

生徒	保護者	教員
57.1%	48.7%	85%

9 子どもの犯罪被害防止、非行防止

生徒	保護者	教員
75.6%	82.1%	100%

【健全育成に関する主な取組】

生徒理解

基本的な生活習慣の徹底と規範意識の高揚 道徳授業地区公開講座

- ・あいさつ、服装、時間厳守、授業規律、給食、清掃指導、生活の決まり遵守
- いじめ防止活動
- ・各教員による生徒観察と生徒への声かけ・いじめアンケートの対応・生徒会のいじめ防止活動、
- ・練馬区いじめ一掃プロジェクトの参加 ・PTAと連携したいじめメッセージ・標語での呼びかけ
- 日常の食育、食育講座 日常の教育相談 セーフティー教室、情報モラル講習会
- 部活動

【課題】

悩み相談等の教育相談 いじめ防止 部活動

【今後の方策】

- ・基本的な生活習慣を身に付ける、非行や犯罪被害防止に関する学校の取り組みに対しては概ね良いと考えます。不審者対策、インターネット等の問題については今後も学校として指導や注意喚起、適切な情報提供等の取り組みを行います。また、道徳授業地区公開講座、セーフティー教室、情報モラル講習会への保護者の参加は可能な限り早い段階で保護者の参加を呼びかけます。
- ・あいさつの励行等の指導は今後も学校として機会を捉えて指導を継続します。
- ・生徒の悩み相談の数値が低いため、声かけを中心とした教育相談などに今後も力を注ぎます。

・部活動については学校として可能な限り力を注ぎます。ただし、指導できる顧問教諭やその他外部の指導員などの存在があってはじめて部活動は成り立つという理解もいただきたいです。

・いじめに対しては今後も学校として素早い対応とともに、その撲滅をめざして力を入れます。

生活習慣の徹底と規範意識高揚の取組充実

教育相談活動の充実と生徒の悩みの受け止め

いじめ防止活動の充実

あいさつの励行

保護者が大勢参加する道徳授業地区公開講座、セーフティー教室、情報モラル講習会のあり方の工夫と実施

10 ～ 13 (キャリア教育)

10 子どもが主体的、意欲的に行動しようとする気持ちの育み

生徒	保護者	教員
75.6%	83.2%	80%

11 同窓会、高校の先生など、人材を活用した生き方学習

生徒	保護者	教員
55.1%	58.4%	80%

12 福祉(職場)体験学習、進路講演会など、子どもが将来を意識できる学習

生徒	保護者	教員
78.9%	81.3%	95%

13 家庭と連携した進路指導

生徒	保護者	教員
	62%	80%

【キャリア教育に関する主な取組】

当番活動、係活動、生徒会委員会活動、2年生職場(福祉)体験学習

校外学習、修学旅行の学び 教育相談活動による自己肯定感の高揚

三者面談 同窓生による職業講話

高校の先生による福祉講話 進路説明会、進路講演会

【課題】

職場(福祉)体験学習への理解 キャリア教育に対する情報発信と理解

【今後の方策】

・今年度より職場体験学習を福祉施設での体験に限定した。そのことが保護者に上手く伝えることができなかつたので、保護者会等で情報提供します。

・キャリア教育の情報を適切に発信します。

・職場体験等で体験したことのまとめをしっかりと行う。

・同窓生による職業講話、大泉桜高校と連携した福祉講話をそれぞれ継続実施します。

・家庭と連携を密にした進路指導の実施

14 ～ 16 (魅力ある開かれた学校の推進)

14 ホームページ、学校連絡メール、学校公開等の情報提供

生徒	保護者	教員
	82.4%	90%

15 保護者・地域・生徒の声を大切にする

生徒	保護者	教員
	66.1%	90%

16 日常の学習の応用

生徒	保護者	教員
	73%	90%

【魅力ある開かれた学校の推進に関わる主な取組】

学校公開週間、学校公開日、授業参観の実施 学校連絡メールの活用 ホームページの定期更新

各種たよりの発行（学校、学年、学級、保健、図書だより） 地域行事への参加

学校評議員会の実施 行事や授業公開・参観日の保護者アンケート実施 地域パトロールへの参加

【課題】

学校公開・授業参観への保護者の来校者数が少ない 学校の情報発信

【今後の方策】

- ・学校連絡メールや各種案内を活用して学校公開、授業参観への呼びかけを適切に行います。特にセーフティー教室、情報モラル講習会、道徳授業地区公開講座には大勢の保護者に来ていただけるように、前もっての連絡、PTAを通じた広報を行います。
- ・ホームページの定期更新、充実を図り学校の情報発信を活発にできるようにします。
- ・次年度も学校に相談しやすい雰囲気や体制づくりを工夫します。
- ・学校と家庭の連携を次年度も充実させるようにします。

17～18(小中一貫教育・連携)

17 小中のスムーズな接続のための取組

生徒	保護者	教員
	85.9%	100%

18 小中一貫教育研究・連携の情報提供

生徒	保護者	教員
	58.9%	90%

【小中一貫教育・連携に関わる主な取組】

小中校長連絡会の実施 小中一貫教育研究推進委員会の実施

校区別協議会を中心とした小中の合同研究・研修会の実施 小学生の中学校訪問

小学生の授業体験、部活動体験・見学 小中相互の連携・連絡

練馬区小中一貫教育研究フォーラムでの研究発表と研究報告書の作成

【課題】

小中相互の授業参観 小中一貫教育に関わる情報提供

【今後の方策】

- ・次年度より2年間で研究してきた課題改善カリキュラムを3校(学園中、学園小、緑小)で共有しながら実践を進めます。そのため可能な限り小中相互の授業を参観し合うようにします。
- ・小中一貫教育に関わる情報を可能な限り家庭、地域に情報発信します。
- ・体験授業、部活動体験・見学、小学生の中学校訪問を今後も継続的に実施していきます。